

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

汲沢地域ケアプラザ

2 事業報告

地域の現状と課題について

《地域の現状》

汲沢エリアには汲沢地区（6自治会町内会）、北汲沢地区（5自治会町内会）、踊場地区（14自治会町内会）という3連合町内会があり、それぞれ独自の活動を展開しています。

汲沢地区は村のコミュニティが色濃く残る反面、集合住宅も多く建築され、新旧住民が混在しています。北汲沢地区は最寄駅から遠く、細い路地が入り込んで坂が多い地域のため、古くから地域独自の活動として生活支援や送迎支援などが生まれ、防災意識の高い地区です。踊場地区は県営団地を中心に昭和30年代に転入してきた住民と近年の開発により新規転入してきた世帯が混在しています。

地縁・血縁の強い縦の繋がりだけではなく、新住民との横の繋がりを強化した地域づくりが必要です。

《取り組みと課題》

センターの基本理念のもと、地域の誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心した生活が送れるように、地域福祉保健計画の推進を地域と共に進めました。また、地域包括ケアシステムの中核を担い地域を支える施設として、信頼される総合的な福祉・保健・介護サービスの提供に努めました。

- (1) 地域福祉保健計画の第3期計画を推進するために、「地域連携チーム」の一員として地域と共に取り組んできました。
- (2) 小地域支援への取り組みとして、各自治会町内会エリアの状況把握及び「まちづくり」に協力しました。
- (3) 地域の福祉保健活動団体や人材などの社会資源と連携協働し、世代間交流を図り、新たな社会資源作りに努めました。
- (4) 地域包括ケアシステムの構築に向けて、生活支援コーディネーターを加えた5職種が、地域における生活支援体制整備に取り組んできました。
- (5) 地域包括ケアシステムの拠点施設として、ワンストップサービスに向けた機能を強化し、地域における健康作りや交流の促進、要支援、要介護状態となるおそれのある高齢者の生活機能低下の早期発見・早期対応に努めました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

利用者の皆様に安全・快適にご利用いただくことを目的として、次のような施設維持管理を行いました。

・ 建築基準法第12条による特殊建築物定期点検ほか、法定により定められた各種点検、電気設備、水質検査、消防設備、ばい煙測定、受水槽、EV等の点検を実施しました。

ケアプラザを含む高齢者福祉センターは、開設から20年を経過し経年劣化が著しく、早期の補修を実施し建物の延命化を図る必要が生じました。横浜市や戸塚区と協議の上、10月から2月にかけて大規模修繕工事（外壁等）を行いました。

・ 委託契約書に基づき、日常清掃・定期清掃・施設管理業務を行い、快適な環境維持に努めました。

・ 災害時停電等の電源確保を目的としたガスコージェネレーション設備の安定稼働に努めました。

・ 毎日、宿日直者が保守点検チェック表に基づき、施設内設備、外周巡視点検を実施し、破損・故障箇所等を宿日直日誌に記録し、報告を実施しました。

・ 幹部職員ならびに防災委員による毎月の防災パトロールを行い、建物内外の危険・破損箇所をチェックし、危険箇所の速やかな保守修繕を実施、施設の安全と維持管理に努めました。

・ 施設内清掃は業者委託で行い、日々清潔を保つよう努めました。

・ 地域ボランティアの協力を得て、敷地内の清掃、除草、植栽等を行い、環境整備に努めました。

イ 効率的な運営への取組について

地域の皆様の快適なご利用を優先に考え、効率のよい運営に努めました。

・ 高齢者福祉センター全体で協業体制をとり、施設全体で効率的な運営を行いました。

・ 地域包括支援センター、地域交流活動部門、居宅介護支援事業所、デイサービス等のケアプラザ職員が情報を共有し、効率的な運営を行いました。

・ 地域の関係機関、関係者との連携を図りながら、地域ニーズに対応できるよう協働しました。

・ ケアプラザ運営協議会（10月・3月）、地域ケア会議、地域密着型サービスの運営推進会議（3月）等を開催し、関係者の意見を業務に反映するよう努めました。

・ 高齢者福祉センター経営計画に基づき、計画的に運営しました。

・ パソコンでの情報共有、効率的な介護保険請求業務のため、ソフトの追加購入を行いました。

・ 無駄な電気を消費しないよう、空き部屋、職員の休憩時間の消灯、電気器具のスイッチオフを徹底するほか、夜間宿直者の巡視によるチェックを実施しました。

ウ 苦情受付体制について

横浜市苦情対応事務処理要領に基づき、当プラザで規定した苦情解決要綱並びに苦情解決マニュアルに解決責任者及び窓口を明示し対応しました。

- ・ 難度の高い問題には、第三者委員に申立ができる仕組みになっています。
- ・ また、モニター制度により、毎月2人のモニターが来所面談を行い、利用者の苦情や要望等をお聞きしました。
- ・ 館内に設置してある「あなたの声」（投書箱）に寄せられた、ご要望ご意見への対応は、館内に掲示するほか、広報紙を通じて広く情報公開しました。
- ・ 年1回利用者アンケートを実施し、そこに寄せられたご意見ご要望は、その対応結果を第三者委員に報告するほか、広報紙等に掲載しました。
- ・ 苦情は朝のミーティングや部署会議等で報告検証しました。
- ・ 苦情要望への対応状況について、毎月第三者委員に報告し、指導助言を仰ぎました。
- ・ 今年度、投書箱に寄せられた要望「プラザのトイレにペーパータオルの設置してほしい」については、次年度前半にエアタオルの設置を予定しています。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防犯・防災対策を意識的に進め、災害等、緊急時に備えました。

- ・ 防犯対策は、当プラザで規定する防犯マニュアルに基づいて対応します。
- ・ 戸塚消防署立会いの下で地元町内会と交わした「消防応援協力に関する覚書」に基づいて、災害時の相互の応援体制を強化します。
- ・ 正面玄関に設置されたAEDの操作訓練を年1回全員研修し、消防署立会いによる年2回の総合防災訓練を実施しました。
- ・ 夜間の巡視等警備体制を強化しました。
- ・ 防災対策は、当プラザで規定する地震防災マニュアルに基づいて対応します。
- ・ 当プラザは災害時における在宅要援護者のための「特別避難場所」として登録されていますので、地域の皆様への周知と区との連絡体制の強化を図ります。また、要援護者の把握に努めました。
- ・ 災害時応急備蓄物資は種類ごとに消費期限を明示し、適宜交換しました。
- ・ 災害発生時に備えて防災マニュアルに基づいた職員の役割分担・連絡体制等、職員への指導、徹底を行いました。
- ・ 防災委員及び幹部職員による毎月の館内と周辺のパトロールを実施し、不具合等があれば即時対応しました。

オ 事故防止への取組について

職員全員を対象として、法令順守に則った利用者支援の理念・技術向上の研修を実施しました。

- ・事故発生時は当プラザが規定する事故対応マニュアルに基づいて、速やかに対応すると同時に、市の「事故発生時の報告取扱要領」に従って所管課へ報告します。
- ・センターにおいて事故が発生した場合、事故報告書を各部署に回覧し周知しました。
- ・事故防止を目的として「事故防止検討委員会」開催しました。
- ・各所属長の出席する月2回のセンター運営会議において、事故報告やヒヤリハット報告を行い、危機管理意識を職員相互に共有しました。
- ・職員の交通安全教育を実施しました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

「横浜市個人情報の保護に関する条例」に準拠した職員研修を実施し、個人情報管理責任者を定め、情報管理体制構築に努めていましたが、4月に他機関への誤配布による個人情報漏えい事件が起きてしまいました。それまでも事故発生の都度、研修やマニュアル整備は行っていましたが、個人情報保護の徹底がなされていなかったこと、いつの間にかマニュアルから外れたローカルルールが生まれていたことが原因でした

- ・4月の事故発生後、戸塚区福祉保健課事業企画（所轄）の指導の下、検証・検討・職員面談を重ねることによって職員の自覚を促し、更なる体制とマニュアルの整備を行いました。
- ・個人情報が含まれるパソコン等は必ずパスワードを入力し、不使用時は鍵のかかる引き出しあるいはロッカーに収納します。
- ・バックアップ用のメモリー等は、鍵の掛かるロッカーに保管し、室外持ち出し禁止にしました。
- ・プラザ全職員に個人情報保護研修を実施し、他部署のヒヤリハットや漏えい事故発生時には、その都度職員に周知し注意を喚起しました。

キ 情報公開への取組について

運営内容がいつでも提示できるようにガラス張りの情報公開に努めました。

- ・公報委員会では、ホームページを定期的に更新し、新しい情報を市民に伝えました。
- ・プラザの予算決算報告を含めた日頃の活動・事業内容を毎月の広報紙（ふれあ交流・ぐみぐみ）やホームページに掲載し、地域の方への周知を図りました。
- ・公開を求められた文書等は、当所の規定する「情報の公開に関する取扱要綱」並びに「個人情報に関する取扱要綱」に従い、速やかな手続き対応を行います。
- ・介護保険に関わる介護情報については、「介護サービス情報公表制度」により、神奈川県指定情報公表センターのホームページに掲載しています。

ク 人権啓発への取組について

子ども、高齢者、障がい者等が生き生きと暮らせる地域社会の実現を目指し、地域住民と連携協力して人権啓発に努めました。

- ・ 町内会など地域の方々と協力して、さまざまな権利擁護事業を行いました。
- ・ 地域住民の多様な相談に応じ、その問題解決と人権擁護のため、関係機関と連携・協働しました。
- ・ 区と連携し、虐待や消費者被害などの権利侵害から高齢者を守ることに努めました。
- ・ 高齢者虐待防止法による虐待の早期発見、早期対応に努めました。
- ・ 権利擁護に関する情報提供や周知を行いました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

地域の皆様、利用者が快適で過ごしやすい施設環境と地球にやさしい省エネ生活を目指して、以下の様な取り組みを行いました。

- ・ 定期的にはばい煙測定を実施し、二酸化炭素やダイオキシン等を法定内の排出量に抑えました。
- ・ ご利用者の食事の残菜量削減を目指し、残さないためのメニューの工夫をしました。
- ・ コピー機より安価で効率の良い印刷機を活用しコピーの枚数削減に努めると共に、裏紙の活用も継続しています。
- ・ 移動手段を自動車から環境に優しく駐車スペースを取らない電動自転車に代えることによって、少しでも温暖化防止に努めました。
- ・ 館内の自動販売機横にプラキャップ回収箱を設置し、地域の社会運動に協力しました。
- ・ 建物の壁には朝顔やゴーヤなどのグリーンカーテンを作り、西日を遮断し、省エネに努めました。
- ・ 敷地に樹木、竹林、庭木、花壇を配し、定期的に整備を行い、利用者の癒しの空間づくりと温暖化防止に努めました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

- ・ 看護師（訪問看護経験者、介護支援専門員） 常勤 1 名
- ・ 社会福祉士（介護支援専門員） 常勤 2 名
- ・ 主任介護支援専門員（社会福祉士） 常勤 1 名
- ・ プランナー（介護支援専門員） 非常勤 1 名

《目標》

- ・ 本人が主体的に目標設定でき、自立や意欲を引き出せるようなケアマネジメントを実施しました。
- ・ 要支援者が要介護者に、または要介護者が要支援者になった場合でも安心して住み慣れた家や地域で生活ができるように、居宅のケアマネジャーと連携を密にしました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

包括エリア内には、地域包括が協力して立ち上げた元気づくりステーションが4ヶ所、介護予防Gが3ヶ所あります。要支援者には積極的に活用を働きかけました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
180	184	181	190	192	190
10月	11月	12月	1月	2月	3月
202	192	188	193	202	206

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 常勤兼務管理者（主任介護支援専門員） 1名
- ・ 常勤専従介護支援専門員 4名（うち3名は主任介護支援専門員）
- ・ 非常勤事務職員 1名 以上 計6名

《目標への取り組み状況》

- ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けた医療、介護、福祉、住宅の視点で社会資源を取り込んだ総合事業への取り組み ⇒ 要支援の委託プランの積極的な受け入れを行った。8名⇒16名
- ・ 介護支援専門員の専門性の向上を図る ⇒ 毎月の事例検討会を通じて、困難事例のケース課題とマネジメントを習得した。
- ・ 地域密着型サービスとの連携を図り、在宅生活の継続に努める ⇒ 今まで馴染みの少ない定期巡回訪問介護看護、認知症型通所介護、小規模多機能居宅等の利用について、在宅生活を継続する為にきめ細かく導入に配慮してきました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ・ ご利用者、家族から提供サービスエリア外への派遣依頼があった場合、旅費（交通費）の実費を請求 ⇒ 平成28年度は事例として発生しませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 特定事業所（Ⅱ）として、主任介護支援専門員4名を含む常勤5名体制で相談を年中無休で受け付けています。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
142	147	152	148	146	136
10月	11月	12月	1月	2月	3月
134	132	130	129	128	127

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 生活指導（相談援助等）
- 機能回復訓練（日常動作訓練）
- 健康状態の確認（バイタルチェック）
- 入浴 ●食事 ●送迎

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 755 円
 - （要介護2） 887 円
 - （要介護3） 1024 円
 - （要介護4） 1161 円
 - （要介護5） 1298 円
- 食費負担 750 円
- 入浴 54 円
- おむつ代 実費

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30 ~ 16:35

《職員体制》

- ①管理者1名（常勤兼務）
- ②生活相談員6名（常勤兼務3名）
- ③看護師8名（常勤兼務1名、非常勤6名）
- ④介護職員 22名（常勤兼務3名 非常勤19名）
- ⑤事務2名（非常勤2名）

《目標に対して》

- ①ご利用者が個々の状況に適した活動を選択できるようなプログラムを用意して、（運動・学習・クラフト・園芸等） 自発的に参加できるようにしていきました。また、生活動作が自立して行えるように、機能訓練を行いました
- ②送迎時や家族会（年2回）など、ご家族との情報交換やご意見をいただきながら家庭との連携を図り、介護負担軽減に努めました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①毎月、行事を計画して、（花見・料理作り・七夕・夏祭り・ランチバイキング・忘年会・節分など）を計画して、季節感、食への意識を高めていきました。
- ②訪問歯科協会の協力により、御口の相談会を定期開催し、口腔ケアに対する意識の向上を図り、定期受診を勧めていきました
- ③戸塚警察交通課の協力により、靴や杖などに『反射シール』を取り付けてもらい交通事故予防への意識付けをおこないました。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
690	680	687	725	690	649
10月	11月	12月	1月	2月	3月
641	643	610	589	594	677

● 認知症通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 生活指導（相談援助等）
- 機能回復訓練（日常動作訓練）
- 健康状態の確認（バイタルチェック）
- 入浴 ●食事 ●送迎

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 1054 円
 - （要介護2） 1164 円
 - （要介護3） 1276 円
 - （要介護4） 1387 円
 - （要介護5） 1498 円
- 食費負担 750 円
- 入浴 54 円
- おむつ代 実費

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30 ~ 16:35

《職員体制》

- ①管理者1名（常勤兼務）
- ②生活相談員6名（常勤兼務3名）
- ③看護師8名（常勤兼務1名、非常勤6名）
- ④介護職員 22名（常勤兼務3名 非常勤19名）
- ⑤事務2名（非常勤2名）

《目標に対して》

- ①穏やかに過ごして頂く環境を整え、ご家族の休養もサポートすることができました。
- ②個々の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じた個別支援計画に基づいたサービスを提供しました。
- ③認知症の医学的な理解を深めて、周辺症状が軽減できるように努めました。デイ中のバイオリズムを考えたプログラムを提供して、生活リハビリを進めました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①毎月、行事を計画して、（花見・料理作り・七夕・夏祭り・ランチバイキング・忘年会・節分など）を計画して、季節感、食への意識を高めていきます。
- ②肺炎や心疾患などに、口腔ケアを習慣化させていきます。その為に、訪問歯科協会の協力により、口腔ケア相談会を開催しました。
- ③運営推進会議を開催して、利用者家族、地域住民の方々にサービス内容等を報告しました。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
245	244	249	245	264	263
10月	11月	12月	1月	2月	3月
267	239	238	200	211	230

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 送迎、入浴、食事（ケアプランにより決定）
- 運動器向上訓練、栄養ケアマネジメント
- バイタルチェック（必須）

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 （要支援1と要支援2で週1回利用の場合） 2168 円
 （要支援2） 4177 円
- 食費負担 750 円
- 運動器向上訓練 251 円
- 栄養ケアマネジメント 167 円
- 複数実施加算（運動と栄養を両方選択した場合） 535 円

《事業実施日数》 週 2日

《提供時間》 9:30 ~ 16:35

《職員体制》

- ①管理者1名（常勤兼務）
- ②生活相談員6名（常勤兼務3名）
- ③看護師8名（常勤兼務1名、非常勤6名）
- ④介護職員 22名（常勤兼務3名 非常勤19名）
- ⑤事務2名（非常勤2名）

《目標に対して》

ご利用者が自立した日常生活を営むことが出来るよう、目標設定を明確にして、楽しみながら、継続して行えるサービスを提供致しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①上記2種類の選択的サービスを提供致しました。
- ②平成28年1月より、横浜市総合事業に移行し、ニーズによって（ケアプラン）送迎、入浴、食事サービスを提供しました。

《利用者目標（契約者数）》 【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
34	34	32	27	33	30
10月	11月	12月	1月	2月	3月
42	41	39	35	37	32

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：汲沢地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	認知症通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	20,588	29,357	149						5,789
	介護保険収入					29,621	79,621		40,118	
	その他	6,684	0	0	10,407	0	0	3,019	0	0
	介護予防ケアマネジメント費				10,407			3,019		
	修繕追加配布	6,684								
	収入合計(A)	27,272	29,357	149	10,407	29,621	79,621	3,019	40,118	5,789
支出	人件費	8,517	25,136		2,199	27,086	48,961	1,856	24,670	5,318
	事務費	2,841	901		240	1,796	1,675	63	844	
	事業費	409	54	152			7,041	267	3,548	309
	管理費	7,659	2,036				7,800	296	3,930	
	その他	7,881	609	0	7,340	0	4,824	183	2,431	0
	修繕費	7,158	126				4,824	183	2,431	
	運営協議会経費	42								
	協力医謝金		483							
	業務委託費(介護保険事業)				7,340					
	消費税	681								
支出合計(B)	27,307	28,736	152	9,779	28,882	70,301	2,665	35,423	5,627	
収支(A)-(B)	-35	621	-3	628	739	9,320	354	4,695	162	

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託	参加費	講師謝金	材料費	その他
ぐみざわ倶楽部	①65歳以上	¥294,885	¥44,315	¥250,57		¥22,746	¥272,139
	②50名						
	③500円						
トンとん	①障害児	¥73,216	¥16,000	¥55,100		¥25,822	¥47,394
	②4名						
	③800円						
子育て中のママさん・一緒にしゃべりませんか？	①親子	¥89,300	¥89,300		¥29,160		¥60,140
	②6組						
	③無料						
どれみの森のお友達	①親子	¥93,506	¥59,506	¥34,000	¥75,600	¥6,706	¥11,200
	②17組						
	③2000円						
やきもの遊び	①障害児親子	¥30,800	¥30,800			29,365	¥1,435
	②10組						
	③無料						
陶芸教室 (※夏休み親子体験陶芸含む)	①地域住民	¥92,684		¥192,000		¥92,684	
	②20名						
	③2000円						
納涼祭	①地域住民	¥3,667					¥3,667
	②2300名						
	③無料						
ボランティア感謝会	①施設ボランティア	¥45,302	¥45,302				¥45,302
	②100名						
	③無料						
図書コーナー	①地域住民	¥21,257					¥21,257
	②						
	③無料						
かいごカフェ	①介護者	¥36,338		¥21,600			¥14,738
	②84名						
	③無料						
		780,955					

平成28年度 自主事業報告書

汲沢地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
図書コーナー	蔵書、約1500冊、戸塚図書館からの本も約500冊を貸出ししています。特に大きな活字本の導入を積極的に進め、施設の特徴を活かしながら一般図書とあわせて子どもからお年寄りまで幅広い年代層の皆さんに活用して頂けるよう整備しました。	【実施時期】 平日：9時～21時 休日、祝祭日：9時～17時 【実施回数】

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぐみざわ倶楽部	仲間作りや閉じこもりを防ぐ場所として、また地域での繋がりを作ることを目的に実施しています。近隣の汲沢保育園との交流事業を実施し充実を図ることに加え、新たな集いの場と機会を提供しました。	【実施時期】 毎月第3月曜日 13時30分～15時30分 【実施回数】 20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
陶芸教室	毎回、多くの方にご参加頂いている「陶芸教室」ですが、28年度も引き続き多くの方にご参加頂けるようにボランティアさんの協力を得ながら実施しました。	【実施時期】 隔月土曜日 年間通して実施 9時30分～12時 【実施回数】 21回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子陶芸教室	今年度もボランティアの皆さんの協力を得ながら、「夏休み親子体験陶芸教室」を実施しました。	【実施時期】 8月 10時～12時 【実施回数】 3回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て中のママさん・一緒におしゃべりしませんか？	平成28年度から実施した新規自主事業です。主に子育てしている母親を対象とした支援事業で、育児で抱えている精神的負担軽減を目的に親子分離で実施しました。	【実施時期】 1月/2月/3月 10時～12時 【実施回数】 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
トンとん	障がいのある中学生を中心に活動している「トンとん」ですが、ボランティアの皆さんが定期的に活動へ参加して頂いています。プログラムも「流しそうめん」や外出レクなどを実施しました。	【実施時期】 毎月第1土曜日 11時～14時 【実施回数】7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
やきもの遊び	より多くの障がいのある親子が参加できる事業として実施していけるよう、事業の充実に取り組みました。	【実施時期】 隔月第3土曜日 10時～12時 【実施回数】6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場	普段区役所共催で実施している「遊び場・しゃべり場・ほっとタイム」が祝祭日のお休みの際、ケアプラザ独自自行として実施しています。	【実施時期】 5月・11月 10時～12時 【実施回数】2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
広報紙の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラザの事業周知 ・ケアプラザエリアの地域情報の周知 	毎月1回発行 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
どれみの森のお友達	今後、どれみのボランティアグループ「どれみファミリー」にも、より積極的な参加を呼び掛け、プログラムの充実を図りました。	【実施時期】 毎月第3金曜日 10時30分～12時 【実施回数】10回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遊び場・しゃべり場・ほっとタイム	子育て支援者が毎週水曜日に来て開催しました。また祝祭日はケアプラザ主催事業として実施しました。	【実施時期】 毎週水曜日 10時～12時 【実施回数49回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぐみさわ納涼祭（汲沢町内会・ぐみさわ東ハイツ自治会共催）	2自治会町内会共催事業、また汲沢地区社協後援として実施しています。おおぞらひまわり保育園や汲沢小学校、汲沢中学校にも参加して頂き地域の納涼祭として盛大に開催しました。	【実施時期】 7月 【実施回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クローバースポーツクラブ	汲沢地区、北汲沢地区、踊場地区の3地区連合町内会、また汲沢小学校の4機関合同で毎月第2、第4土曜日に開催している「地域総合型スポーツクラブ」です。ケアプラザとしては、健康教室への協力をしています。	【実施時期】 毎月第2、第4土曜日 【実施回数】 21回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
人形劇（汲沢地区青少年指導委員共催）	青少年指導委員との共催事業として、ボランティア団体「人形劇いちご座」の人形劇を開催しました。	【実施時期】 12月 13時30分～ 【実施回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
汲沢地区家庭防災員共催研修会	家庭防災員の共催事業として実施しました。今年度は「防災のまちづくり」をテーマに山路清貴氏を講師にお迎えして実施しました。	【実施時期】 12月 【実施回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
北汲沢地区社会福祉協議会「車椅子体験」研修会	北汲沢地区「統一防災訓練」の中で北汲沢地区社協共催「車いす研修会」を踊場公園で実施しました。	【実施時期】 1月 【実施回数】 1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
関係機関交流事業	近隣の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校と連携した交流事業。引き続き様々な関係機関と連携し、地域交流の機会を作りました。	【実施時期】3月 【実施回数】1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プレママ・プチママ集まれ（汲沢地区主任児童委員・汲沢保育園共催）	汲沢地区主任児童委員、汲沢保育園、そしてケアプラザが連携をとりながら実施します。今年度は1年間を通じてベビーマッサージを取り入れたプログラムを実施し、そのうえで後期は「離乳食」を中心としたプログラムを実施しました。	【実施時期】5月,6月,7月,10月,11月,12月 第4水曜日 13時～14時30分 【実施回数】6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会	汲沢地域ケアプラザ、特別養護老人ホーム「しらゆり園」で日頃活動して下さっているボランティアの皆さまへ感謝の気持ちをお伝えする機会として実施しました。	【実施時期】12月 13時～14時30分 【実施回数】1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康医療講演会	汲沢地区社会福祉協議会、西横浜国際総合病院共催事業として実施しました。今年度は1年間を通して開催。テーマは「健康寿命を延ばそう」を取り上げ医師からの講義の他、地域活動団体（食生活等改善推進員や保健活動推進員）にも協力頂き体験型のプログラムを実施しました。	【実施時期】年間通して 【実施回数】6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
汲沢ウォーク	汲沢地区連合町内会主催、汲沢地区社協、ケアプラザ共催事業として実施しました。実行委員会形式を取り入れコーディネーターも一緒に参加しました。当日は会場の提供や包括支援センター看護師の協力により実施しました。	【実施時期】11月 10時～12時 【実施回数】1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
踊場文化まつり	踊場地区青少年指導員が中心となり、踊場連合、地区社協、スポーツ推進員等が実行委員会を組織しコーディネーターも一緒に参加しました。当日は「福祉体験コーナー」を担当しました。今年度は福祉業者にも協力をお願いし多種多様な車いすを用意して体験してもらうことが出来ました。	【実施時期】11月 10時～14時 【実施回数】1回

平成28年度 自主事業報告書

汲沢地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
かいごカフェ	介護者という共通の立場の人たちが、日頃の悩みや思いをお互いに語り合う場を設定しました。また介護等に役立つ情報を提供しました。	【実施時期】 毎月第2金曜日 13時00分～14時30分 【実施回数】 9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男のかいごカフェ	男性介護者同士の情報共有や精神的孤立を防止することを目的に、男性介護者3人集った月に懇談会を行いました。	【実施時期】 6月第2金曜日 13時00分～14時30分 【実施回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康講座	地域単位の小規模の会合や集まりに出向き、保健、医療に関する情報提供や講座を行うことを目的に、高齢者の食事会でミニ講座を行いました。	【実施時期】 9月 【実施回数】 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	戸塚区キャラバンメイトと協力して町内会館で講座を開催し、認知症の理解を広めました。	【実施時期】 5月 【実施回数】 1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護講演会	権利擁護の視点での講演会を開催することにより、地域住民への周知と意識向上が行えることを目的に、踊場老人クラブ連合会・踊場地区センターとの共催で「老前整理」の講演会を開催いたしました。地域の地区センターを会場とすることにより、ケアプラザまで来れない地域の方が参加することができました。	【実施時期】 10月 【実施回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遊び場・しゃべり場・ほっとタイム	子育て支援者が毎週水曜日に来て開催しました。また祝祭日はケアプラザ主催事業として実施しました。	【実施時期】 毎週水曜日 10時～12時 【実施回数49回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぐみさわ納涼祭（汲沢町内会・ぐみさわ東ハイツ自治会共催）	2自治会町内会共催事業、また汲沢地区社協後援として実施しています。おおぞらひまわり保育園や汲沢小学校、汲沢中学校にも参加して頂き地域の納涼祭として盛大に開催しました。	【実施時期】 7月 【実施回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クローバースポーツクラブ	汲沢地区、北汲沢地区、踊場地区の3地区連合町内会、また汲沢小学校の4機関合同で毎月第2、第4土曜日に開催している「地域総合型スポーツクラブ」です。ケアプラザとしては、健康教室への協力をしています。	【実施時期】 毎月第2、第4土曜日 【実施回数】 21回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
人形劇（汲沢地区青少年指導委員共催）	青少年指導委員との共催事業として、ボランティア団体「人形劇いちご座」の人形劇を開催しました。	【実施時期】 12月 13時30分～ 【実施回数】 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
汲沢地区家庭防災員共催研修会	家庭防災員の共催事業として実施しました。今年度は「防災のまちづくり」をテーマに山路清貴氏を講師にお迎えして実施しました。	【実施時期】 12月 【実施回数】 1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
北汲沢地区社会福祉協議会「車椅子体験」研修会	北汲沢地区「統一防災訓練」の中で北汲沢地区社協共催「車いす研修会」を踊場公園で実施しました。	【実施時期】 1月 【実施回数】 1回
関係機関交流事業	近隣の保育園、幼稚園。小学校、中学校、高校と連携した交流事業。引き続き様々な関係機関と連携し、地域交流の機会を作りました。	【実施時期】3月 【実施回数】1回
プレママ・プチママ集まれ（汲沢地区主任児童委員・汲沢保育園共催）	汲沢地区主任児童委員、汲沢保育園、そしてケアプラザが連携をとりながら実施します。今年度は1年間を通じてベビーマッサージを取り入れたプログラムを実施し、そのうえで後期は「離乳食」を中心としたプログラムを実施しました。	【実施時期】 5月,6月,7月,10月,11月,12月 第4水曜日 13時～14時30分 【実施回数】 6回
ボランティア感謝会	汲沢地域ケアプラザ、特別養護老人ホーム「しらゆり園」で日頃活動して下さっているボランティアの皆さまへ感謝の気持ちをお伝えする機会として実施しました。	【実施時期】 12月 13時～14時30分 【実施回数】1回
健康医療講演会	汲沢地区社会福祉協議会、西横浜国際総合病院共催事業として実施しました。今年度は1年間を通して開催。テーマは「健康寿命を延ばそう」を取り上げ医師からの講義の他、地域活動団体（食生活等改善推進員や保健活動推進員）にも協力頂き体験型のプログラムを実施しました。	【実施時期】 年間通して 【実施回数】6回
汲沢ウォーク	汲沢地区連合町内会主催、汲沢地区社協、ケアプラザ共催事業として実施しました。実行委員会形式を取り入れコーディネートも一緒に参加しました。当日は会場の提供や包括支援センター看護師の協力により実施しました。	【実施時期】11月 10時～12時 【実施回数】1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
踊場文化まつり	踊場地区青少年指導員が中心となり、踊場連合、地区社協、スポーツ推進員等が実行委員会を組織しコーディネーターも一緒に参加しました。当日は「福祉体験コーナー」を担当しました。今年度は福祉業者にも協力をお願いし多種多様な車いすを用意して体験してもらうことが出来ました。	【実施時期】 11月 10時～14時 【実施回数】 1回